

# 国労

# 蘇我運輸区分会ニュース

## 列車の音が聞こえない？！

命を守るための音！

利用客の多い駅では必ずといっていいほどホーム数箇所にホーム異常通報装置が設置され、社員は勿論のこと、利用者も危険を認めた場合、これを扱い列車を停車させることが出来ます。(列車とは、広い



この警報ブザーが聞こえない(聞こえ辛い)という報告がありました。先日、夕方のラッシュ時、舞浜駅の下り列車で、中からバッグの紐が挟まり、本体はドアの外のまま発車してしまい、列車が扱われました。その時の警報ブザー音が非常に小さく(雑踏の中では

意味での列車非常停止警報装置の社内略で、以下「列車」表記) 停車は作動させた時の赤いランプの点滅と、警報ブザー音を乗務員が認め、非常ブレーキを扱い止めるものですが、最近、京葉線内の駅で、この警報ブザーが聞こえない(聞こえ辛い)という報告がありました。

大事な至らず良かったものの、左上のイラストのような事象であったら・・・と思うと、背筋がゾッとします。実際の警報音は、目が覚めるほどのけたたましい音で、最初の音で非常ブレーキが引けるという私たちの認識で

耳を済まさなければ聞こえない程度)、窓を閉めている運転士は勿論、窓から顔を出している車掌さえも非常ブレーキを扱うのが数秒遅れてしまったと語っています。(実際は警報ランプを認め、起動10mで停車、ドアコックで処置し、運転再開) 大事には至らず良かったものの、左上のイラストのような事象であったら・・・と思うと、背筋がゾッとします。

### 社員代表選挙 結果は残念だけど

開票：2月22日(月) 16:00~16:25  
 社員数：333名  
 (内、郵送26名、メール6名)

組	129
社	192(当選)
棄権	7
無効	3
白票	2

今回で6回目となる社員代表選挙(職場過半数選挙)は、上記の通り残念な結果となりました。

立候補を立てた他労組からの分析や総括も早々にこちらに届いており、私たちも27日の執行委員会で話し合う予定でいます。

ただ、今までも幾度となく語ってきましたが、選挙結果がゴールではなく、組合運動の中ではひとつの通過点であります。

大事なのは日頃の職場内での活動であり、仕事や生活も含めた問題意識を持ち続けることだと思います。結果はそこに続きます、きっと。共に頑張りましょう!!!

合図は伝わらなければ意味がない!!! 職場でこの話をしたところ、若い車掌も「自分も最近、新木場で音が小さく聞こえ辛かったです」という声がありました。会社の安全サポで、尊い命が奪われるようなことは、絶対許されませ

るものではありません!! 列車も含め、防護無線や信号等、徹底した点検を求めめるものであります。

(追記)舞浜駅は昨年、ホームの延伸工事により、特に下り線での発車時は車掌の目視が後ろ1両ほどになり、危険で気を使うという別の問題も指摘されています。

### 他職場で憤慨(糞害)対策?

前号で発車ベル付近の鳥による糞害の記事を載せたところ、他職場の仲間より「自区ではこれを使って対策してる」という報告がありました。「ヒトデのおかげ」という薬品で、パッケージには「30年の実績、害虫・害獣駆除、北海道産乾燥ヒトデ100%」とあります。(鳥にも効くそうです) 誰が見つけたの?糞害に泣く車掌さんの救世主となるのか?是非、結果の報告もお願いしま〜す!

→ 後日、詳細に。